



「あぁ〜ん♥
両腕がつしり♥掴まれて動けな〜い♥

「パタチ こわあ〜い♥ ご主人様 ご主人様?♥

「パタチ、ご主人様がとってもお優しい方って
知ってますよ?」

「だから、もっと『イチヤイチャのどろどろのックス♥
しましよ?♥」

「ご主人様♥ こんな事言ってますけど〜♥

「ホントは「男らしい屈服のックス♥」したいんですよ♥

「じゃなかったら〜♥

「こんなあま〜い声でおねだり♥なんかしません♥」



「え〜♥ 違うよ〜♥
ホントに イチャイチャ♥ したいの〜♥」

「ご主人様♥ どうなさいますか?♥

「パタちゃん
と
イチャイチャとろとろ○ツクス♥
男らしい屈服○ツクス♥」

「ご主人様のしたい様にしてくださいませ♥」



「んっ♡んっ♡...♡♡」

「おっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡♡♡」
「おっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡♡♡」



パンプキン♡♡♡パンプキン♡♡♡パンプキン♡♡♡

「んおおっ♡ おお♡ おっ♡
やばっ♡ピストンえぐすぎ♡ おおおっ♡♡♡」

「がんばれ♡がんばれ♡ ご主人様ががんばれ♡」

「さすがご主人様♡

パタちゃんもうご主人様に完全屈服してますよ♡

一瞬でメスを虜にするなんて、オス様の鑑です♡」



ビク♥ビクビク♥ビクビク♥

「あ♥おち○ちん膨らんできた♥お射精くる♥

ドロドロの精液注ぎ込まれる♥
完全に 膈内 占領される♥♥」

「気持ちいいお射精まで もう少しですよ♥」

「パタちゃん頑張ってる♥
ご主人様の事 全部受け止めてあげて♥♥」

「はい♥ご主人様♥ パタちいつでも大丈夫です♥

ご主人様のお子種ください♥ お願いします♥」



「がんばれ〜♥ご主人様ふぁいと〜♥」

「お射精がんばれ〜♥がんばれ〜♥」

オツ♥おおおおうおお

オツ♥オオオオオオ

びゅるるる
びゅるるる
びゅるるる

びゅるるる
びゅるるる
びゅるるる



ぐりぐり♥びゅ…♥びゅる…♥

「はあく…♥はあく…♥
オツ♥ おおお…♥♥♥」

「お射精お疲れ様です♥

最後の一滴まで余さず出されて…♥
かっこいいです♥」

「ああく♥ご主人様かっこいい♥♥」















